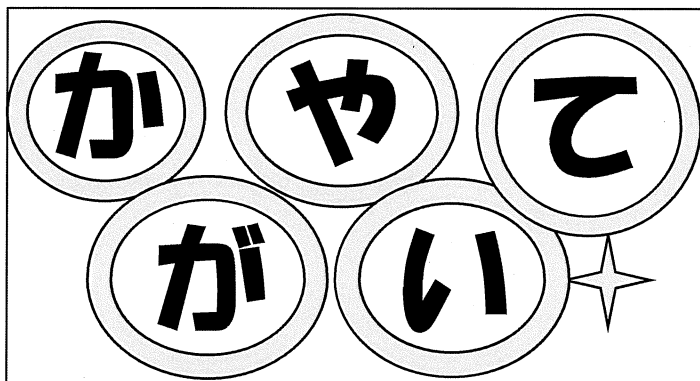




神奈川高齢者生協機関紙 2018年7月号・NO.190

発行責任者 星野 宗吾

〒231-0047

横浜市中区羽衣町 2-7-10 関内駅前マークビル 5 階

Tel045-663-8825 Fax045-662-9662

Eメール kanagawa-coop@koureikyou-k.com

神奈川高齢者生協

検索

第 15 回通常総代会を開催しました

本日は梅雨空の足下の悪い中、又、新型コロナウイルス感染拡大が心配される中、お集まりいただきありがとうございます。

新型コロナウイルスはパンデミック、「世界的大流行」とよく言われます。ギリシア語のパンデミアからきている言葉で、パン(すべて)デミア(人々)がかかる脅威の感染症で、今や世界の政治・経済・社会を混乱に陥れ、世界の感染者数は1,430万人、死者60万人(7月19日現在)に及んでいます。こうした災害時、緊急事態への備えとして言われるのが、「自助」「公助」「共助」です。この中の「共助」は、生協の基本理念で、「共に支えあっていく」という相互扶助の精神が基になっています。

不安の毎日を通しておられる高齢者、障がい者の方々に「私達みんなが見守っているから大丈夫ですよ」と言葉をかけ、実践していくことが生協に関わる私達に与えられている大事な使命です。

本日の総代会の議題は、第1号議案から第6号議案まであります。どの議案も重要な案件です。皆様の熱心なご参加をお願いして、開会のご挨拶とさせていただきます。



理事長あいさつ

(要旨)

神奈川高齢者生協理事長

星野 宗吾



議案の概要

第1号議案 2019年度事業報告・及び決算関係書類承認の件

「黒字化」と「経常剰余 200 万円」を目指しましたが、約 500 万円の損失となりました。「働き方改革」として、公休・有給休暇取得の推進に取り組んだ結果、人件費が予算以上に増加したことが影響しています。2 月以降は、新型コロナウイルス感染拡大によるサービスの利用休止などの影響等で、利用高・剰余高とも大きく減少しました。

当期損失金については「福祉事業積立金」「法定準備金」を取り崩し、次期繰越損失金を 0 とします。

2019年度事業別実績及び収支 (単位千円)			
	2019実績	2019修正予算	予算比
事業収入合計	497,198	497,187	100.0
事業経費合計	456,621	446,217	102.3
福祉事業剰余金	40,577	50,970	79.6
一般管理費	46,303	49,087	94.3
福祉事業総剰余金	-5,726	1,883	-
事業外収入	1,222	300	
事業外費用	522		
経常剰余金	-5,026	2,183	
税引き前当期剰余金	-5,026		
法人税等	344		
法人税等調整額	-182		
当期損失金	-5,188		

第2号議案 2020年度事業計画・及び予算決定の件

新型コロナウイルス感染の影響の中でも、生協全体で経常剰余黒字化をやり遂げます。「事業と活動」を継続させ、「利用者の方の命と生活」を守るためのサービスを継続させて、合わせて「職員の健康、雇用と処遇」を守ります。

第3号議案 全国高齢者生活協同組合連合会脱退の件

「2020 年 3 月末日付脱退予告の理事会議決」について追認していただき、脱退の決定を諮る提案です。

貸借対照表 2020年3月31日現在 (単位:円)			
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	103,154,465	【流動負債】	54,551,118
現金	1,574,166	未払金	5,882,637
振替口座預金	253,750	未払費用	2,130,291
普通預金	10,989,343	前受金	7,668,000
未収金	90,257,814	未払消費税	251,700
前払費用	276,010	預り金	1,476,116
前払金	265,000	未払法人税等	343,500
立替金	145,895	未払給与	28,867,216
貸倒引当金	△ 607,513	賞与引当金	7,931,658
【固定資産】	20,759,730	【固定負債】	25,768,446
(有形固定資産)	13,294,365	長期借入金	21,700,000
建物	6,676,665	退職給付引当金	3,200,000
建物付属設備	40,882,204	役員退任慰労引当金	868,446
車両運搬具	2,698,454		
器具備品	6,818,396	負債合計	80,319,564
減価償却累計額	△ 43,781,354	(純資産の部)	
(無形固定資産)	297,000	【組合員資本】	43,594,631
ソフトウェア	297,000	出資金	37,028,000
(その他固定資産)	7,168,365	剰余金	
関係団体出資金	270,000	法定準備金	8,643,428
差入保証金	4,018,340	福祉事業積立金	3,111,090
繰延税金資産	2,880,025	当期未処理損失金	5,187,887
		(うち当期損失金)	(5,187,887)
		純資産合計	43,594,631
資産合計	123,914,195	負債・純資産合計	123,914,195

第4号議案 役員報酬決定の件

2020 年度役員報酬の総額（限度額）を 720 万円（理事 15 名分）、30 万円（監事 3 名分）とします。

役員の任期満了により理事 15 名、監事 3 名の選任を行います。

2020年度予算の概要 単位 千円			
	2020予算	2019実績	前年比
事業収入合計	519,366	497,198	104.5
事業経費計	470,818	456,611	103.1
一般管理費	47,698	46,303	103.0
福祉事業総剰余金	850	△ 5,716	
事業外収支	-	116	
経常剰余	850	△ 5,600	

第6号議案 議案決議効力発生の件

質問・意見に対する回答

第2号議案に対する意見（主旨）

相模原地区 大田義勝 様

事業所でも、業務・作業の効率化ができることは多々あると考える。「提案制度」を設け、どんどん業務提案をしてもらえるよう呼び掛けてみてはどうか、効果があると思われる提案は可能な限り実施してはと思います。

「報奨金」や「有効賞」など設け、年に一度の総代会において表彰してはいかがでしょう。



第2号議案に対する回答（主旨）

矢吹専務理事

「働き方改革」の推進や経営改善のためにも「業務の効率化」は、私たち高齢者生協にとって、重要な課題になっています。また、訪問介護事業所では特定事業所加算を取得していますが、その要件を満たす業務をいかに効率化していくか等も、今年度非常に大きい課題です。

是非、現場発の提案を活かして、事業所で展開していきたいと思います。

ご意見のような「制度」にまで確立していくには、もう少し検討の時間が必要かと思いますが、提案を活かしていくことは、是非、日常的に取り組んでいきたいと考えます。

第3号議案に対する質問（主旨）

横浜地区 上野 勝 様

全国高齢者生活協同組合連合会前専務理事は、不正を認めて、不正に取得した金銭を全額返還したのでしょうか。

第3号議案に対する意見

横浜地区 上野 勝 様

長年、不正を見過ごしてきた連合会理事の責任は非常に重いと思います。理事は全員辞任し、連合会は解散すべきだと思います。加盟していた協同組合が支払った会費は全額返済すべきです。

横浜地区 庄司 雅博 様

連合会及び前専務理事への責任追及が不十分だと思います。不正が明確となった5年間に連合会に支払った約600万円の会費は返金させ、刑事告訴も検討すべきです。

第3号議案に対する回答（主旨）

矢吹専務理事

連合会前専務理事は、今回の不正については認めているそうです。高齢者生協連合会としては、2019年12月に、「善管注意義務違反」による300万円の損害賠償請求と連合会への謝罪を求めています。それに対して、今年1月には代理人弁護士を通じて、分割で請求額を支払っていく旨の回答書と本人からの謝罪文が連合会に届いているとのことです。

神奈川高齢者生協としては、会費返還や刑事告訴は考えておりませんが、連合会3役をはじめとした役員の「コンプライアンス意識の改革」が不十分であり、連合会としての「機能不全」を改善することは困難だろうと考えています。そういった中、経営改善が最優先課題の神奈川高齢者生協が、連合会に参加し続けることは難しいというのが、理事会としての判断でした。連合会を脱退しても、今後も、首都圏等の高齢者生協や日本生協連、神奈川県生協連合会福祉事業部との情報交換、研修などの連携をより一層強めていきたいと考えています。

総代会出席状況

選挙区	総代定数	出席総代	書面議決	委任状	計
川崎北	8	0	8	0	8
川崎南	4	0	3	0	3
横浜	7	0	7	0	7
相模原	29	2	26	1	29
藤沢	11	1	10	0	11
三浦半島	4	0	4	0	4
平塚	17	1	16	0	17
伊勢原	34	2	32	0	34
厚木	1	0	1	0	1
合計	115	6	107	1	114

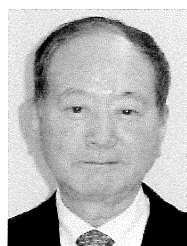
コロナウィルス感染防止対策のため、できるだけ書面による議決をお願いした結果、書面議決が107名となり、出席総代は6名、委任状1名、欠席1名でした。

採決状況

すべての議案が賛成多数で可決されました

議案		反対	保留	棄権	賛成	可否
第1号	2019年度事業報告・決算関係書類等承認の件	0	5	1	多数	可決
第2号	2020年度事業計画及び予算決定の件	0	5	1	多数	可決
第3号	全国高齢者生活協同組合連合会脱退の件	0	7	1	多数	可決
第4号	役員報酬決定の件	0	5	1	多数	可決
第5号	役員選任の件	-	-	-	多数	可決
第6号	議案決議効力発生の件	0	5	1	多数	可決

新役員の抱負



理事長 星野宗吾

高齢者、障がい者とその家族、支援に関わるスタッフ、ボランティアが安心、平穏な地域生活がすごせるよう、関係機関と連携して支援していきたいです。



専務理事 矢吹美樹

世界中が新型コロナウイルスによる困難な中、介護事業をめぐる情勢も厳しくなっていますが、組合員・職員の力で乗り越えていくために精一杯努力します。



常任理事 吉田隆幸

組合理事長、他幹部から、もう1期組合のため経営に携わってほしいとのことで頑張りたいと思います。



常任理事 岩田由美子

組合員の方々が安心して生活できる地域づくりに貢献できるように努力致します。



常任理事 岡田伸男

神奈川高齢者生活協同組合発展の為、努力します。



理事 小池一成

神奈川高齢者生活協同組合の安定黒字化に向け、出来る事を一つひとつ行いたいと思います。

新役員の抱負



理事 林 正人

人材の確保、育成、定着
および法人運営に関し、
有益な情報提供を行いた
い。



理事 福地久仁子

厳しい介護事業の局面を打
破するために理事として共
に学び活動していきたいと
思います。



理事 星谷 明

福祉移送サービスの組合
収益への貢献について、3
年先を見据えて、今に取り
組んで行きたいと思って
います。



理事 渡邊順子

今までの経験を活かして高
齢者生活協同組合の発展に
協力したいと思います。



理事 矢嶋典子

現理事から推薦され、少し
でもお役に立てればと思
っております。前向きに頑
張りたいと思います。



理事 中本郁美

ご迷惑にならないよう努力
します。



理事 山森 靖

利用者の方々の在宅生活を
支えていけるよう、スタッフ
一同で支援していきたいと
思います。



理事 齋藤知子

利用者の方の自立した生活の
一助になりたいと思います。



理事 菅原 恵

伊勢原地区の組織拡大・活
性の為、微力ではございます
が立候補させていただきました。



監事 浅井優子

弱い人を大切にするという社
会のルール実現のために、監
事として微力なりに責任を果
たしてゆきたい。



監事 大石八州夫

生協の経験を生かし、高齢化
社会における高齢者生協の役
割を高めるため、法律、経理の
面から支援したいと思って
います。



監事 星野正思

介護事業の重要性とその運営
の厳しさの中、高齢協の健全な
発展に寄与すべく監事として
の役割を果たしていきます。

理事会たより



2020年度第1回理事会 7月18日 15時22分～15時24分 会場:神奈川中小企業センター

議決事項

理事長・専務理事・常任理事の選任、代表理事の選任、顧問の選任について、下記のように決定しました。(敬称略させて頂きました)

理事長 星野 宗吾・代表理事

顧問 梅原健次郎

専務理事 矢吹 美樹・代表理事

桑原 龍太

常任理事 吉田 隆幸、岡田 伸男、岩田由美子

山岸 道子

2020年度第2回理事会 7月30日 13時30分～15時37分 会場:平沼レストハウス

議決事項

(1) いたど通所介護事業所へのインボディの導入について

利用者の方の体成分分析、筋肉脂肪量、肥満指標、部位別筋肉量、部位別体脂肪量などをはかり、日常の機能訓練の成果が目に見える形にして、利用者の方の健康管理の向上につなげていくために、インボディの導入を決めました。

(2) 理事長・専務理事に事故ある時の代行順序について、以下の通りです。

①岡田常任理事 ②岩田常任理事 ③小池理事 ④菅原理事 ⑤星谷理事 ⑥矢嶋理事
⑦齋藤理事 ⑧中本理事 ⑨山森理事 ⑩渡邊理事

(3) 文書管理規則の改定

規則中の「事務局長」を「専務理事が指名した者」に変更し、
文書保管の方法や個人情報の持ち出し禁止を確認しました。



経営報告 2020年度6月の経営結果

組合員数 6月末組合員数 3,133名

4～6月累計加入数58名、同脱退数44名。累計計画18名に対し14名の実増。
新型コロナウイルス感染防止のため、縮小していた福祉移送サービスの利用が回復していることにより、移送利用の組合員が増えてきています。

出資金額 6月末出資金額 3,722万円

4～6月累計増資額129万円、同減資額88万円。累計計画113万円に対し40万円の実績。
引き続き、組合員加入、出資金の増資にご協力をお願い致します。

利用高 6月実績 4,241万円 予算比 98.6% 前年比 106.2%

4～6月実績12,054万円 予算比 99.3% 前年比 98.2%

経常剰余 6月実績 128万円 予算差 +54万円

4～6月実績43万円 予算差+231万円

新型コロナ感染拡大の影響による減収から6月は回復しつつあります。利用高予算は未達成ながら、今期初めて、経常剰余を黒字にすることができました。6月经常剰余を超過達成することにより、4～6月累計経常剰余も黒字にすることができました。前月、前年よりもさらに経常剰余の達成率が改善されてきています。

サービスごとには、訪問介護の利用高は予算未達成(99.1%)ですが、剰余高予算は超過達成しています(116.9%)。通所介護の利用高は予算比(97.3%、剰余高予算比(73.9%)と予算未達成となっていますが、4事業所中3通所介護事業所は黒字化を達成しています。